

平成27年 市政この1年



今年1年間の主な行事と施策を振り返りました。

- 1月**
 - 1日 第59回全日本実業団対抗駅伝競走大会（ニューイヤ―駅伝2015inぐんま）
 - 10日 桐生市消防隊出初式
 - 11日 第67回桐生市成人式
 - 22日 文化財防火デーに伴う防火訓練
- 2月**
 - 5日 企画展桐生織伝統工芸士28人の技（～8日）
 - 8日 第61回桐生市堀マラソン大会
 - 10日 桐生市・桐生商工会議所・桐生信用金庫「包括的連携協力に関する協定」締結
 - 14日 南公園梅まつり（～3月15日）
 - 25日 平成26年度第1回桐生観光大賞
- 3月**
 - 1日 織都桐生千三百年記念きものファッションショー
 - 1日 春季全国火災予防運動（～7日）
 - 14日 文化財めぐり
 - 17日 笹川堯氏の名誉市民推挙を議決
 - 22日 桐生新町町立て祭（～4月5日）
- 4月**
 - 1日 被災地支援のため宮城県
- 5月**
 - 14日 生涯学習市民フェスティバル（～5月6日）
 - 7日 亀山市長初登庁（3期目）
 - 9日 第67回桐生市文化祭（～6月7日）
 - 23日 市民植木市（・24日）
 - 23日 桐生・新宿森と水による交流
 - 26日 アメリカ合衆国コロンバス市からコロンバス州立大生が来桐（～30日）
 - 31日 市民一斉清掃
- 6月**
 - 1日 子育て世帯臨時特例給付金の受付開始（～11月30日）
 - 1日 スーパープレミアム商品券の申し込み（～7月15日）
 - 6日 第56回吾妻公園花菖蒲まつり（～21日）
 - 7日 元宿浄水場開放
 - 14日 第15回けんこうまつり・こどもフェスタ
 - 14日 第31回市民梅祭り
 - 24日 機械要素技術展（～26日）
 - 29日 故塚越平氏の名誉市民推挙を議決
- 7月**
 - 1日 四鉄道合同ハイキング（～12月31日）
 - 1日 第65回社会を明るくする運動市民大会
- 8月**
 - 4日 動物園一日飼育員（小学生6年生）
 - 7日 第52回桐生八木節まつり（～9日）
 - 8日 第45回日立市・桐生市子ども会交歓会（・9日）
 - 15日 第31回新里まつり
 - 15日 第28回くろほね夏まつり（・16日）
 - 17日 繊維産地インターンシップ事業（～9月11日）
 - 22日 第11回桐生市マーチングフェスティバル
 - 27日 第51回桐生市ぶどう展示会
- 9月**
 - 27日 にいさと新能
- 10月**
 - 1日 臨時福祉給付金の受付開始（～12月2日）
 - 6日 消防隊秋季点検と水防訓練
 - 10日 副市長に鳥井英雄氏就任
- 11月**
 - 1日 桐生市ポイ捨て等防止に関する条例施行
 - 1日 空き家対策室、用地対策室を設置
 - 1日 第3子以降の給食費補助事業開始
 - 1日 おりひめバス運行計画の見直し
 - 1日 子育て就労者市内居住奨励金交付申し込み受付開始
 - 4日 第51回吾妻公園チューリップまつり（～19日）
 - 5日 桐生球場グラウンド改修・ナイター照明設置記念事業
 - プロ野球イースタン・リーグ公式戦
 - 5日 新里こどもフェスタ、桜まつり
 - 12日 県議会議員選挙
 - 16日 市民文化会館前で鯉のぼりの掲揚（～5月10日）
 - 23日 桐生が岡動物園アジアゾウ「イズミ」60歳のお誕生日会
 - 24日 平成27年度日本遺産に「かあ天下・ぐんまの絹物語」が認定（構成文化財12件の内6件が桐生市の文化財）
 - 26日 市長・市議会議員選挙
 - 28日 織物資料展示室来場3万人達成
- 12月**
 - 29日 第25回有鄰館まつり、第

- 11日 日曜日もうグルメシール
ラリー開始（～12月22日）
- 12日 境野水処理センター施設
開放
- 10月
- 1日 平成27年国勢調査
- 3日 平成27年度第1回観光大
学
- 3日 第17回桐生市父母の日大
会
- 3日 第40回桐生市緑化推進大
会
- 5日 マイナンバー制度開始
- 10日 群馬大学工学部創立100
周年記念式典
- 11日 第51回桐生市青年祭
- 16日 ビジネスマッチングフェ
ア桐生2015開催
- 17日 清掃センター施設開放
- 19日 台北テキスタイルフェア
出展（～21日）
- 20日 災害救助訓練
- 22日 台湾雲林県諸都市との友
好連携に関する覚書締結
- 24日 両毛線沿線のほほんまち
歩き特別着付プログラム（・
25日）
- 24日 近代化遺産の日一斉公開
（・25日）
- 24日 第15回桐生市子ども議会
- 25日 市民一斉清掃
- 25日 桐生スケートセンターオ
ープン
- 26日 第38回桐生市交通安全推
進大会
- 28日 桐生市戦没者追悼式
- 28日 桐生が岡動物園にカピバ
ラ初入園
- 30日 第43回桐生市産業振興貢
献企業感謝状贈呈式
- 30日 第20回桐生市ファッション
ウィーク（～11月8日）
- 30日 黒保根町ふれあいフェス
ティバル2015（31日）
- 31日 黒保根町健康まつり
- 31日 新里公民館ふれあい文化
祭（・11月1日）
- 31日 にいさと健康まつり
- 11月
- 1日 児童虐待防止推進月間オ
レンジリボンキャンペーン
（～30日）
- 7日 菱町山林火災跡地森林再
生記念植樹
- 7日 桐生市・みどり市環境保
全ポスター展（・8日）
- 7日 第29回桐生市「明るいま
庭・地域づくり運動」推進
市民大会
- 8日 梅田ふるさとセンターま
つり
- 9日 秋季全国火災予防運動（～
15日）
- 15日 第29回新里地区産業祭
- 21日 北関東三県ウマイもん合
戦in桐生（・22日）
- 12月の予定
- 4日 第9回手づくり布の絵本
全国コンクール（～6日）

9月上旬に日光市付近で降った豪雨により鬼怒川が氾濫し、茨城県常総市に大きな被害が出ました。堤防が決壊して市街地に氾濫流が流れ込み、多くの市民が激流の中に取り残されました。屋根に登って救援を待つ人、ヘリコプターで救出される人。テレビに映し出されるその姿に無事を祈りつつ、改めて思い起こしたのは昭和22年のカスリーン台風に襲われた当時の桐生市の写真でした。

どうしてこれほど多くの市民が氾濫する中に取り残されたのでしょうか。上流の日光市で激しい雨が降り、温泉旅館などに被害が出ている状況や、鬼怒川の水位が極めて高い危険な状態にあることは刻々と伝えられていました。河川の上流がこの状況になれば、その下流部に位置する常総市が危険な状態になるのは時間の問題と言えます。行政も市民もこの情報を活かすことができなかったことが悔やまれます。

この常総市を襲った水害は、状況が少し変われば桐生市で起こったことでした。日光市を中心に鬼怒川の流域に集中した雨は、時間が経過してもほとんど移動することなく、ほぼ同じ場所に「線状降水帯」といわれる雨の集中する細長い地域を形成しました。しかし、この線状降水帯は降り始めの段階では、群馬県東部、桐生から足尾にかけての渡良瀬川流域に形成されていました。もし、

桐生市防災アドバイザー
片田教授の防災コラム②



人ごとではない鬼怒川の水害



カスリーン台風の被害の様子

線状降水帯が全く移動しなかったなら、鬼怒川で起こった氾濫は渡良瀬川で起こったことであり、常総市で起こった事態は桐生市で起こったことになりました。しかし、線状降水帯は、足尾周辺から日光に僅かに移動したため、桐生市は被災を免れました。今回の鬼怒川の水害を教訓に、川の流域を意識して、上流での雨には注意を払いたいものです。

片田敏孝氏 群馬大学広域首都圏防災研究センター長。群馬大学大学院理工学府教授。専門は災害社会学。平成26年4月から桐生市の防災アドバイザー。